

米寿のお祝い記念品について

Q 例年お祝いに座布団を贈られているが、記念品を選択制にしては、どうか。

A 米寿のお祝い記念品の座布団については、様々な意見があると思うので、いろいろな方々から意見を聞いて検討したい。

(町長)

議席12番

内海 和子 議員



男女共同参画について

Q 今年の予算では女性対策費が大幅に増えている。今年度の事業内容はどのようなものか。

A 推進委員会の創意で計画されたもので、DVやワークライフバランスの講演会、参加型セミナー、ハンドブックの作成、出前事業などの啓発事業となっている。

(総務部長)

Q 私も推進委員の一人として男女共同参画推進条例の案を出している。ぜひ行政でも後押ししていただきたいが。

A 委員全員が共通理解できるような条例を作成して頂ければ、町は全面的に応援していく考えである。

(町長)

返礼品と納税について

Q 全国的に不適切な返礼品があると国からの自粛が言われている。当町ではどのように対処するのか。

A 返礼品を4割から3割に、自転車もサイトから取り下げた。またふるさと納税の健全化を目的に27自治体の連合会を作り、町長が共同代表となっている。

(秘書公室長)

地域の発展につながっているので、子育てや高齢者の福祉など使役道を考える。

(町長)

残土条例について

Q 最近境町各所で残土が盛られている。近隣市町で残土条例の強化がされているが、当町ではどのような対応になっているか。

A 関係機関と連携し道路を狭めるなどしてきたが、町参与の弁護

士と条例の改正を検討する。

(総務部長)

条例は意味ないというが、志鳥、長井戸、下砂井などからの要望もあり、防犯カメラなど、やれることは全部やって、しっかり対応しているといういみで、条例設置にむけて協議をしていきたい。

(町長)

議席10番

田山 文雄 議員



圏央道4車線化の早期推進について

Q 圏央道4車線化に向けて町としての取り組みについて。

A 去る2月26日に県内区間が全線開通したことにより、久喜白岡JCTから境古河ICの4月の1日平均の交通量は、約24,300台と開通前と比較して約2.4倍となっており、休日を中心に渋滞が生じている。今回の開通が暫

定2車線で、交通事故による通行止めや最高速度が70kmに制限されている、低速車両がいると速度低下が発生するといった走行性の課題もある。

町としても、利用者はもとより沿線の立地企業のためにも早期の4車線化が必要と考えている。県や県西地区・圏央道建設促進期成同盟会と連携し国やネクスコに要望していきたいと考えている。

(建設農政部長)

Q 圏央道の交通量の増加に伴い沿線の騒音についての対策について。

A 全線開通に伴い交通量が大幅に増加したことから、行政懇談会でも「音が気になる。」といった意見が出されている。

境古河IC周辺の開発や近隣市町の開発が進むと大型車をはじめ、交通量の増大が見込まれ、4車線化の際には、防音壁の設置、騒音対策が実施されるよう国やネクスコに要望していきたい。

(建設農政部長)

◎広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 山田 正樹 |
| 副委員長 | 青木 輝明 |
| 委員 | 斉藤 政雄 |
| 委員 | 内海 和子 |
| 委員 | 渡邊 昇 |